

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

RI会長 ホルガー・クナーク



2020~2021

ロータリーは地域とともに

富津中央RC会長 渡辺 務

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2631 第16回例会 2020.11.26 晴

点 鐘：神子勝美 副会長

進 行：鎌田良子 副SAA

ソング：それでこそロータリー

と謝った時、息子は苦しい息の下で『僕のほうこそ』と言ったという。誰にとっても思いがけない言葉だったが、それを聞いて大学生は声をあげて泣き、後になって彼は『あの時ほどうれしかったことはありませんでした』といったそうです。

その一言によって皆の心が救われたというのだった。いま電話やメールでたくさんの言葉が飛び交っている。ただその多くはむなしく、しばし人を傷つけている。だが時に人を感動させる勇気を与えることがある。小さな言葉には大きな力があります。コミュニケーション最大の手段小さな言葉を大事にしましょう。

会長挨拶

神子 勝美 副会長



ご安全に！！私はコミュニケーション大事だと思っています。コミュニケーションの最大の手段は言葉ですが、同じメディアでもテレビとラジオは違う。映像のテレビと違って、ラジオは耳だけで伝えます。それだけにラジオ番組関係者は言葉づかいに気を配っているそうです。まことにさりげない言葉が心に響いたかがわかるさりげない言葉を紹介します。

①『母ちゃん泣かんとけ』これは夫を交通事故で失った時三歳の息子が涙の止まらぬ母親の頭をなでていった言葉だったそうです。

②『僕のほうこそ』小学五年生の息子が自転車に乗っていて車にはねられ、病院に運ばれ何とか一命をとりとめた。加害者の大学生が病室を訪れ、恐る恐る震える声で『ごめんね』

幹事報告

栗原典子 幹事



1. 2021年台北国際大会早期登録割引最終日の変更回覧
2. RLI第2回ブラッシュアップセミナー案内回覧
3. 国際ロータリー2020年決議審議会決定報告書回覧

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館

Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

293-0043

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



4. 風の便りVol. 6回覧
5. 袖ヶ浦 RC より例会変更案内受領12/21(月) 点鐘18:00木更津ビューホテル家族親睦忘年会
6. 休会12/28(月)(定款第7条1節d項)
7. 第2770地区浦和ダイヤモンド RC 会員(株)ボイスクリエーションシユクル代表佐藤恵様よりクラブ会長のための声援ワンポイント資料受領回覧
8. 木更津 KC より週報受領回覧
9. 米山功労クラブ感謝状送付案内受領回覧

卓話

栗原典子 会員



皆さまこんにちは。久し振りの卓話で大変緊張しています。宜しくお願ひ致します。

7月で還暦を迎え今までの自分をちょっと振り返ってみました。

小学校5年生から、中学、高校、社会人、また41才から53才までミニバスとバスケットボール漬けでした。そして53才からはゴルフ漬けに。

一番厳しかったのは高校時代でした。殴る、蹴る、言葉の暴力、勿論水分補給なし。真夏はムロ状態の体育館で泡を吹き何人もが倒れ(私もその中の一人でしたが)。今でいう熱中症だったのでしょね。一年生12名が入部しましたが、一年持たず、5名が辞めていきました。残った仲間7名と1つ上の先輩に恵まれ3年間持ち堪えることができました。

その時のマネージャーが鎌田会員です。高校の部活にはマネージャーは無くてはならない存在です。監督はカミナリ親父、マネージャーは女房役で

した。目くばり、気くばり、思いやりができる素晴らしいマネージャーでした。高校のバスケット仲間とは強い絆で結ばれ、今でも毎年欠かさず食事会を開いています。

そして41才の時、中学の2級上の男子の先輩から電話があり、「栗原、話があるから今度店に行くね」と。早速男性5名でご来店。何十年振りの再会でした。話は、大貫ミニバスクラブを立ち上げるのを手伝ってくれないか。名前だけでいいから監督を引き受けてくれないか。いきなりで面食らいました。先輩たちの子供達への思い、熱意に私の心も動かされクラブを立ち上げることになりました。その当時、家業のスナックをやりながら、二人の娘のPTA活動、コーラス活動、小学校での読み聴かせ、中学校バスケット部外部コーチに忙しい毎日でした。そこにミニバスが加わり、当時長女の部活の朝練もあり、朝が早く3時間ちよつとの睡眠で今では考えられませんが。若かったんですね。色々な活動の中で私にとって一番の宝ものはミニバスの活動でした。

クラブを立ち上げたことを高校の先生にお伝えしたところ「お前達は一番大切な時期の子供達を預かるんだぞ、心してやれよ。小学生はバスケットをやることより大切なものがいっぱいあるんだからそれを忘れるな。」と叱咤激励されました。健全な体づくり、心づくりを目指しました。一年生から六年生という中でスポーツが得意な子、得意でない子、足の速い子、遅い子、様々でした。バスケットはまず走ることが基本ですので走り方から教えました。腕を横に振る子、足が上がらない子、アゴを上げて走る子。私達の子供の時は外で飛んだり跳ねたりと遊びの中で自然とできたことがそういう事ができない子供が多いことに驚きました。スポーツは遊びから生まれたものですので楽しくなくては続きません。低学年にはボール遊び、おにごっこ、だるまさんがころんだ、と保育士のように触れ合いました。発足時「4つの約束」を作りました。

1. 靴を揃えましょう。
2. 挨拶をしましょう。
3. 人の話を聴きましょう。
4. 返事をしましょう。

挨拶や返事の前に声を出すことも容易でない子もいました。練習前に全員が靴を揃えないと練習は開始しないという約束でした。

ある試合の時、高学年の子供が散乱しているトイレの履き物を揃えているのを影から見たのです。他クラブの子供達がバラバラに脱いだものを誰も見ていないとここでキレイに揃えているのを見て嬉し涙が出ました。練習の時に円陣を組み、その時の話をして拍手して褒め讃えました。その子が「えー、グリさん見てたのー」って。(当時私はグリさんと呼ばれていました。)顔を真っ赤にして。すると子供達が「誰々ちゃん、すごーい。」と言って全員で拍手喝采でした。バスケットが上手になるより、そういうことが身に付いて出来たことが何よりも嬉しかったです。

ある子供は決して運動能力が高い子ではありませんでした。4年生で入部した時に校内マラソン最下位だったのですが6年生には1位となり確実に体力が付き、自身を持つことができたようです。「グリさん、走ることが嫌いだっけど好きになったよ。」と言ってきました。これもまた涙ものでした。

また喘息で入部した姉妹は3年間運動したことで治ってしまいました。

話をすればザクザク宝物が出てきます。子供達にとってミニバスは色々な事を学ぶ場であり、また子供達、保護者さんから私達指導者が学ぶ場でもありました。むしろそちらの方が大きかったです。多い時には部員36名という大所帯の時代もありました。大切なお子さんをお預かりする中で、指導者がみな同じ方を向いていないことには、うまくいきません。

趣旨から逸れていないか常に確認しながら指導者のチームワークを諮りました。スポーツですので勝ちに拘るのは必然です。指導者が入れ替わる中で勝つ為だけのチーム造りに突っ走り、私の話に耳を傾けてくれなくなり、段々、自分の居場所がないことに気づきました。「一番大切なものを見失わないようにね。」の言葉を残し7年前に去りました。

昨年監督から子供の数が激減し、指導者も居なくなっただけで存続することができなくなりました。申し訳ありませんと連絡がありました。残念ですが仕方ありません。

色々な場面で卒業生に会う機会があります。教員、銀行員、パティシエ、男性に混じって三交替、立派なお母さん、etc. 皆キレイになってお化粧して街で会っても分からない娘もいます。今年の成人式には卒業生が店に来てくれました。無口だった子がベラベラよく喋るようになっていてビックリ。男勝りだった子が女らしくなっていたり。あの時の「4つの約束」を、家庭を持った時に1つでいいから自分が見せて子供に伝えて欲しいと願っています。

ご清聴ありがとうございました。

卓話

榎本守男 会員



卓話をする喜び

皆さん、こんにちは。本日は9月に続き卓話をさせていただきます。

先ほどの栗原幹事の卓話は、メリハリのある話し方で体験による説得力のある内容でした。有難うございました。

そのお話を聞き、私は小学3年生の時の優しい担任の先生を思い出しました。その先生から卒業時に「らしくありたい」と書かれた色紙を頂きました。男は男らしく、子供は子供らしく、父は父らしくあってほしいとの思いが込められていたのだと後になってわかりました。ロータリアンはロータリアンらしい行動をとりたいと思います。

まず、今日は卓話について話をさせていただきます。卓話といえば人前で話すことです。大勢の人の前で平気で話す事について作家の伊集院静氏が雑誌の人生相談のコーナーで「年間30回以上講演する私だって苦手です。誰もそうなのです。苦も無

く話せる人は生来の詐欺師です。」と話されていました。私も詐欺師でなくてよかったと思っています。

卓話は、何を話すか？どう話すか？決めて経験を素直に語る事が肝心だと思っています。何事も備えあれば憂いなし。皆様に聞いていただければ、それだけで少しの喜びと満足感を得られるからです。スポーツ・エンタメの世界と同じだと感じています。

ちなみに、クラブで過去に話したテーマについては私のパソコンの中に、卓話の泉として残しております。

「五木寛之の親鸞の世界について」「元気の出るニーチェと落胆名人カフカ」

「平安時代の恋 和歌の世界」「菊池寛 三人兄弟」

「補陀落渡海の世界 井上靖」

「歎異抄の謎」「田山花袋 蒲団」「こんなに違う台湾と韓国」「広島からヒロシマへ」

「城崎にて 志賀直哉」「ドラッカーのマネージメントとは(もしドラを読んで)」

「西田幾多郎 善の研究・純粹経験」「福沢諭吉 学問ノススメ」

「私の蘊蓄話」「モンリオール国際大会・失敗談」

「シンガポール国際大会の思い出」

以上のこんなテーマで幾度となく卓話をさせていただきました。改めてご清聴に感謝します。

前置きが長くなりましたが、今日はロータリーに関する卓話をさせていただきます。

私は富津中央ロータリークラブには 32 歳の時入会しました。

初代会長 笠原さんとの接点は、炉辺会合の 1 回だけです。初代会長は平和についてよく話をされていました。「世界の多くの国に友人を持ちましょ。そうすれば友人のいる国とは戦争したくないでしょ。それが平和につながるのです。」その後、初代笠原会長の遺された様々な言葉を先輩より教わり、その深さに感銘しました。

次に大先輩藤村先生です。創立 20 周年のゲストとしてトランスRCよりウォターマン夫妻が来られた時、チャーターメンバーの志波会員に同行し藤村さんの西大和田にあるゲストハウスに行きました。英語での会話の中に入れてただ笑うことしか出来

なかったことは苦い思い出の一つです。創立 20 周年の講演の中で特に印象に残ったことがあります。

終戦前夜、藤村先生はスイスのベルンで海軍の駐在武官でした。アメリカの戦略事務局アレン・ダレスより得た情報を大本営・首相・海軍へ幾度となく打電されました。ポツダム宣言を受諾するように、天皇制容認の終戦が可能との緊急電報でした。それを受けて日本政府が行動をしていたらソ連の参戦はおろか広島・長崎の被爆の前に戦争は終わっていた。このことは戦後しばらくして藤村先生がアメリカでアレン・ダレス氏と再会した。その時ダレス氏はスイスのベルンを舞台にあの戦争を終結することが出来たのに日本はその好機をのがした旨の事を藤村氏に語ったようであると記されている。この事実が書かれた本「疑惑」を三枝会員より8月に予定されていた私の卓話「広島からヒロシマへ」の前週に頂きました。

そして、講演の中で「日本の進路」として、次のように話されています。

日本は戦争には負けたそして敗戦国になった。この事実を忘れてはいけない。

しかし、みんなで立ち上がった。勤勉に働き、国民の暮らしは豊かになった。経済大国といわれるまでに成長した。これからの大事なことは、その結果を自分だけで独占せずに他に分け与えることです。最も大切なことは聖人の考え方を学ぶことです。

「聖人というのは、学問的に五人います。哲学では中国の孔子とギリシャのソクラテスの二人。宗教ではインドの釈迦とキリストの二人です。もう一人日本の天照皇大神です。世界人類の先生です。キリストさんは愛を唱えました。お釈迦さんは慈悲です。ソクラテスさんは正義です。孔子さんは仁です。天照皇大神さんは真心です。」と話されました。

哲学とは一体何でしょう。人は如何に生きるかを考える学問です。水道・電気・道路が社会の重要なインフラであるとすれば、哲学は心のインフラです。日々、充実させていく必要があるのです。

藤村先生の言葉の定義を私なりに調べてみました。

正義とは、人の道にかなって正しいこと。

仁とは、儒教における最高の徳 思いやりです。
 愛とは、「汝の隣人を愛せ。汝の敵を愛せ」の言葉が表しています。
 慈悲とは、手をさしのべてくる者はすべて救うこと。
 真心とは、偽りや飾りのない心です。
 要約すると「すべきことは、人の為に尽くすこと」となると思います。

ロータリーの「四つのテスト」を口ずさんでください。

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなの為になるかどうか。

私たち、ロータリアンは率先して、みんなの為になるべく、今もこれからも行動していきたいものです。
 最後に三枝会員から教わった言葉「述べて作らず」を肝に銘じて卓話させていただきました。
 丁度お時間となりました。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコ BOX

岡田良弘睦担当部員



- 栗原典子 卓話をさせていただいて
- 榎本守男 卓話をさせていただいて
- 渡辺哲夫 氏名委員会よろしくお願いします
- 相川志津子 お二人の卓話を聞かせていただき感動いたしました。ありがとうございました。
- 平川恵敏 ロ財団の寄付をよろしくお願いいたします。現在16名ご協力いただいております。12月3日(木)までよろしくおねがいします

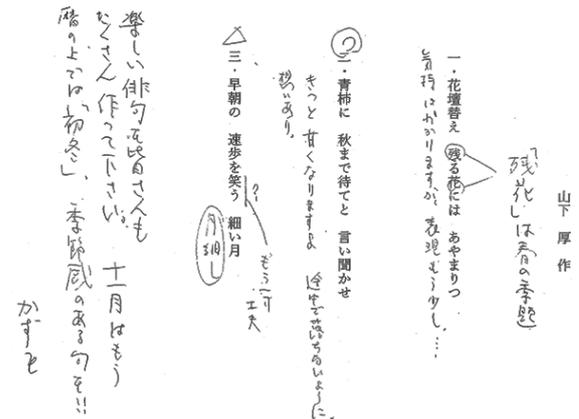
出席報告

相川恵津子 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	35/33	22	11		66.67%
前回	35/33	22	11		66.67%

三枝会員からの俳句講評



実際の講評の一例

特々選

渡辺哲夫

◎コロナ禍で姿見えない赤とんぼ
 (評)堂々たる名句。「コロナ禍」という時代性と「赤とんぼ」という季語が溶け合った诗情ゆたかな作品となった。理屈でない感性がいい。

特選

榎本守男

◎栗ご飯口いっぱいにまご二才
 (評)「栗」だからいいのです。秋、食欲の季節、子供はドンドン育つ。オジイチャンの笑顔が見えるようだ。表現した以外に想像がひろがるのが佳句。

石渡 鋼

◎秋晴れや闘病日記に笑い洩る

深刻な暗い筈の日記にあるユーモア。笑いが救い。心許した間柄だから笑える。秋晴れの明るさがいい。秋雨では泣きたい。季題がピタリ生きました。

一般選

栗原典子

○運動会孫から電話一等賞

(評)ワタシに似て韋駄天？若いオバアチャンのハートも躍動する。特選にすればよかったかな？

須藤 隆

○満月が川面に浮かび揺れ動く

(評)オーソドックスな写生。本当はこういう句が俳句なのだから大いに奨励したい。だから一段レベルを上げて、あえて言えば一寸説明が多いのです。一句の中に動詞が三つも入るとどうしても言い過ぎる。芭蕉は「いいおおせてなにかある」と言いました。基本形は一句一動詞。「古池や蛙とびこむ水の音」素質ありと見て、一寸やかましかったかも。

志波 克

○夕暮れや浮かべる黄色石菫(つわ)の花

(評)これもオーソドックスないい句。「ボク元気コスモス咲いたと孫写メール」これもいいけど、私のような機械音痴には「写メール」に一寸抵抗がある。ここをなんとかならないかな。

山下 厚

○青柿に秋まで待てと言ひ聞かせ

(評)山下さん。ゴメンナサイ。後から有力なライブルが出てきたので、並選になってしまいました。この自然へのやさしい問いかけは詩人の素質。きっと甘くなります。それまで落ちないでね。

若鍋武良

○コロナ禍も一時休戦秋彼岸

(評)お墓参りだから一寸タンマ？「休戦」にユーモアあり。もう一句、「秋深く曇より高し観音像」は「秋

深し雲に聳える観世音」としてみました。

神子勝美

○焼芋のなつかし匂い妻の声

(評)庶民の平和な生活を思う。でも、もう一寸俳句的にすると「焼芋の匂いを妻と懐かしむ」となるが、どうでしょうか。

* * *

皆さん、また頑張ってよい句をお作り下さい。

選者吟

千葉一利君を悼む

病み臥して友の訃を聞く秋の風

三枝かずを

諸事報告

岡元誠 会報・公共イメージ委員

11月19日会報の誤記報告。会長挨拶の中の前週理事会報告の1項、「脱会届」ではなく「退会届」の誤記がありました事お詫び申し上げます。

渡辺哲夫 副SAA

次回は12月3日(木)定刻どおり点鐘いたします。

なお、結婚・誕生祝いならびに小野恒靖会員の卓話を予定しております。



昼食